

(案)

資料3

第2期菊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略
進捗状況報告書（令和〇年度版）

令和〇年〇月

目次

第1編 総論

- 1 総合戦略の概要
- 2 総合戦略体系図
- 3 市の人口動向
- 4 総合戦略の達成状況

第2編 具体的な取り組みの実績

- 1 未来を支えるまちづくり
 - (1)郷土愛を育み、定住を促進する
 - ①若者のキャリア教育
 - ②移住・定住の推進
 - ③就業支援
 - (2)結婚・出産・子育てを支援する
 - ①結婚から子育てまで切れ目のない支援
 - ②幼児教育・保育の充実
 - ③教育環境の充実
- 2 魅力を高めるまちづくり
 - (1)多様な人材の活躍を推進する
 - ①健康寿命の延伸
 - ②自己実現の充足
 - ③多文化共生社会の実現
 - ④シティプロモーションの推進
 - (2)働きやすい環境を実現する
 - ①雇用・労働環境の整備
 - ②農業の生産力と経営力の強化
 - (3)安心できる生活環境を築く
 - ①都市基盤の整備
 - ②自然環境の保全
 - ③防災力の強化

第1編 総論

1 総合戦略の概要

.....

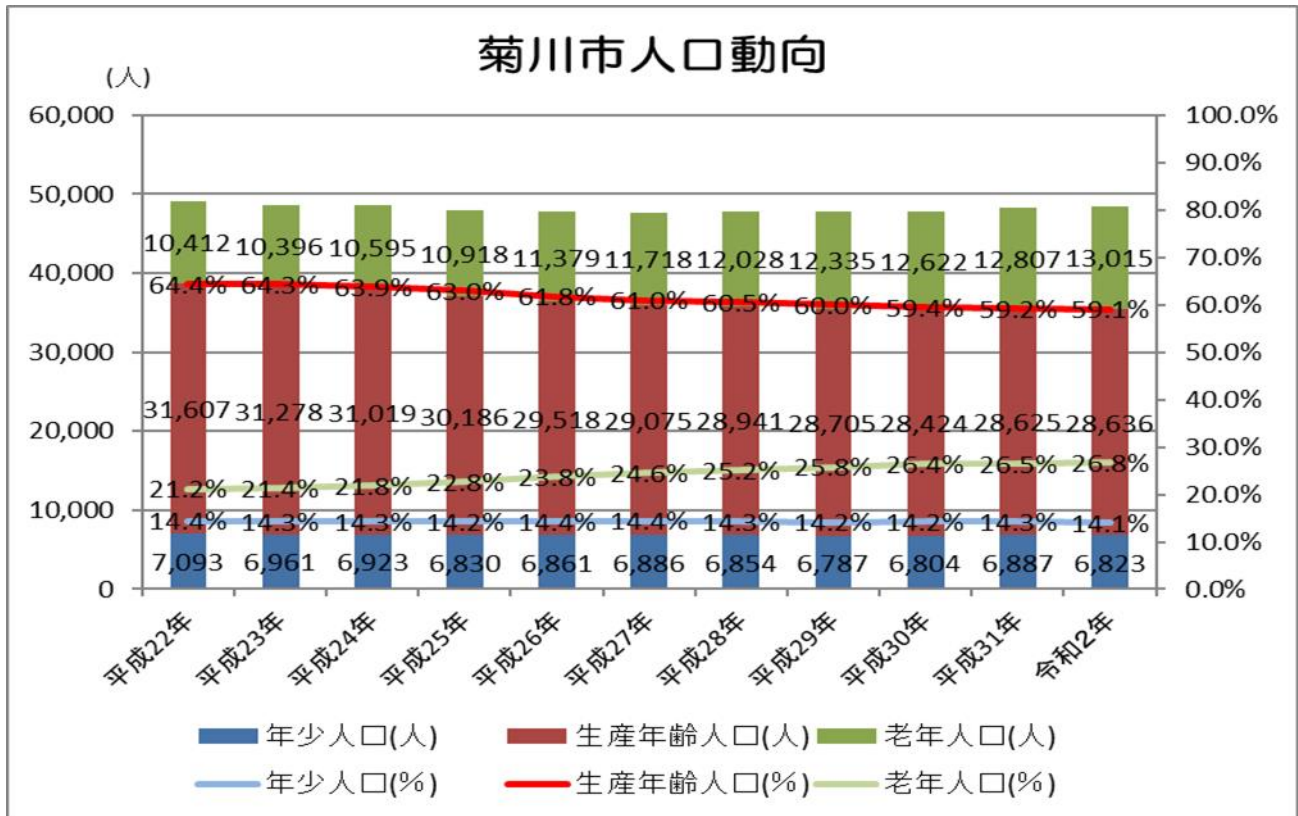
2 総合戦略体系図

基本目標	基本施策	主な取り組み
I 未来を支えるまちづくり	移動率を改善する 1 郷土愛を育み、定住を促進する	①若者のキャリア教育 ②移住・定住の推進 ③就業支援
	出生率を高める 2 結婚・出産・子育てを支援する	①結婚から子育てまで切れ目のない支援 ②幼児教育・保育の充実 ③教育環境の充実
II 魅力を高めるまちづくり	ひと 1 多様な人材の活躍を推進する	①健康寿命の延伸 ②自己実現の充足 ③多文化共生社会の実現 ④シティプロモーションの推進
	しごと 2 働きやすい環境を実現する	①雇用・労働環境の整備 ②農業の生産力と経営力の強化
	まち 3 安心できる生活環境を築く	①都市基盤の整備 ②自然環境の保全 ③防災力の強化

3 市の人口動向

(1) 人口推移と構成について

令和〇年度末時点での本市の人口は、～。

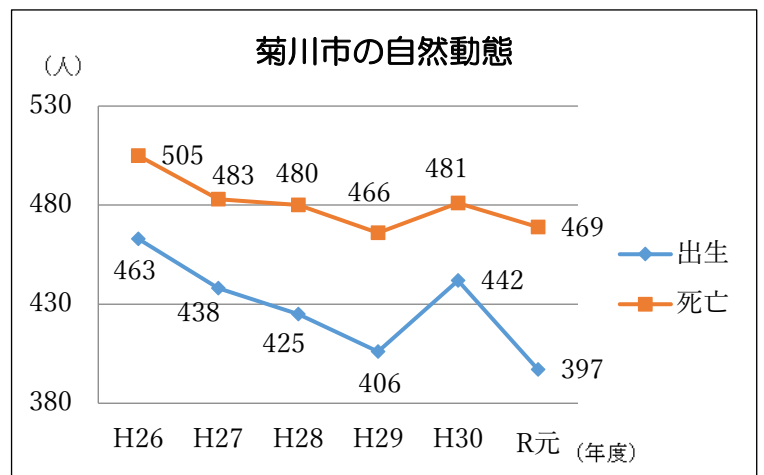


出典:菊川市住民基本台帳
(各年3月31日)

(2) 自然動態について

令和〇年度の出生数は〇人、死亡数は〇人であり、〇人の自然（増減）です。

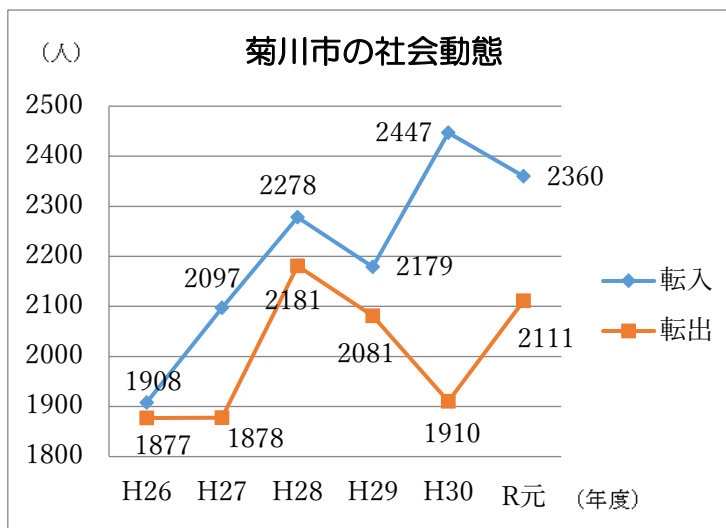
出生	〇〇〇人
死亡	〇〇〇人
自然動態	〇〇人



(3) 社会動態について

令和〇年度の出生数は〇人、死亡数は〇人であり、〇人の社会（増減）です。

転入	〇〇〇〇人
転出	〇〇〇〇人
社会動態	〇〇〇人



(4) 令和〇年度の人口増減について

自然動態	社会動態	その他※	合計
〇〇〇人	〇〇〇人	〇〇〇人	〇〇〇人

※その他には職権消除等が含まれる

4 総合戦略の達成状況

(1) 基本指標

数値目標に設定されている4つの基本指標について、達成状況と評価を報告します。

達成すべき目標値の年間目標を未達成：△
達成すべき目標値の年間目標を達成：○
目指すべき目標値の年間目標を達成：◎

基本指標	基準値 (H26)	達成すべき 目標値 (R6)	目指すべき 目標値 (R6)	R2	達成状況
合計特殊出生率	1.66	1.84	1.84	—	
出生数	2,030人 ※406人/年	1,952人 ※390人/年	2,100人 ※420人/年		
若年層(20歳～24歳)の転出超過の抑制	▲169人	▲118人	5人	—	
転入超過数	324人 ※81人/年	525人 ※105人/年	1,280人 ※256人/年		

※達成すべき目標値…2060年に人口36,000人を達成するための目標値

目指すべき目標値…直近の自然動態、社会動態を維持・向上させ、さらに人口減少を抑制するための目標値

(※データに対しての分析を記載)

.....

(2) 重要業績評価指数 (KPI)

基本施策に設定されている 18 の重要業績評価指数 (KPI) について、達成状況と評価を報告します。

区分	内容
S	「R2 実績値」が目標値以上のもの
A	「R2 実績値」が「期待値」の+30%超過～「目標値」未満のもの
B	「R2 実績値」が「期待値」の±30%の範囲のもの
C	「R2 実績値」が「期待値」の-30%未満～「現状値」以上のもの
現状値未満	「R2 実績値」が「現状値」未満のもの
—	統計値等発表前、当該年度に調査なし等

※計画最終年度（令和6年度（2024年度））に目標を達成するものとして、現状値から目標値に向けて均等に推移した場合における各年度の数値を「期待値」とします。

重要業績評価指数 (KPI)	基準値	目標値 (R6)	期待値 (R2)	実績 (R2)	達成状況
①「将来菊川市に住みたい」と思う中学生の割合	80.4%	基準値以上	基準値以上		
②「菊川市に愛着がある」と思う中学生の割合	91.9%	基準値以上	基準値以上		
③住宅取得補助制度の利用件数	417件(累計)	500件(累計) ※100件/年	100件		
④従業者数 工業 商業	7,975人 2,496人	8,275人 2,650人	8,035人 2,527人		
⑤市内への新規女性就農者数	1人(累計)	3人(累計)	1人		
⑥「安心して子どもを育てられるまち」だと思う市民の割合	81.9%	87.1%	82.9%		
⑦幼児施設入所待機児童数	0人	0人	0人		
⑧特別な教育的支援を必要とする児童生徒に係る「個別の教育支援計画」の策定率	27.6%	70.0%	36.1%		
⑨要支援・要介護認定を受けていない高齢者の割合	86.7%	83.4%	86.0%		

重要業績評価指数（KPI）	基準値	目標値 (R6)	期待値 (R2)	R2	達成状況
⑩「男女が個人として尊重され、 ともに個性や能力を発揮できる まち」だと思ふ市民の割合	39.6%	60.5%	43.8%		
⑪「文化や国籍が異なる人々がと もに暮らしやすいまち」だと感じ る市民の割合	55.5%	65.4%	57.5%		
⑫観光交流客数	366,907人	395,272人	372,580人		
⑬ホームページ魅力紹介ページ のアクセス数	59,136PV	140,000PV	75,309PV		
⑭事業所数	1,843事業所	1,850事業所	1,844事業所		
⑮市内への新規就農者数	22人(累計)	25人(累計)	23人		
⑯「菊川市は住みよいところだ」 と感じる市民の割合	86.7%	基準値以上	基準値以上		
⑰「市民や企業が環境保全に取り 組むまち」だと思ふ市民の割合	51.6%	64.8%	54.2%		
⑱「災害に備え防災対策が整って いるまち」だと思ふ市民の割合	48.8%	58.4%	50.7%		

(※データに対しての分析を記載)

.....

【令和2年度重要業績評価指数（KPI）評価の集計結果】

評 価	令和2年度	
	指標数	%
◎		
○		
△		

第2編 具体的な取り組み

の実績

基本施策Ⅰ-1

郷土愛を育み、定住を促進する

1) 施策の達成度

重要業績評価指数	基準値	目標値 (2024)	実績 (R〇)
①「将来菊川市に住みたい」と思う中学生の割合	80.4% (2018)	基準値以上	
②「菊川市に愛着がある」と思う中学生の割合	91.9% (2018)	基準値以上	
③住宅取得補助制度の利用件数	417件 (2016-2019 累計見込)	500件 (2020-2024 累計) ※100件/年	
④従業者数 工業 商業	7,975人 (2016) 2,496人 (2016)	8,275人 (2022) 2,650人 (2022)	
⑤市内への新規女性就農者数	1人 (2015-2018 累計)	3人 (2020-2024 累計)	

2) 主な取り組み

取組1：若者のキャリア教育

若者が地域について学び、主体的に考え行動するキャリア教育の実施により、未来を担う人材を育成するとともに、地域への愛着を深めます。

【事業実施結果】

- ・ 総合計画・総合戦略に関する出前行政講座の実施
小中学生が地域について学び、地域へ愛着を育むため、総合計画・総合戦略に関する出前行政講座を実施しました。
(実施校：〇校、受講者数：〇人)
- ・ 「中学生ふるさと未来塾」の実施
.....
(実施校：〇校、参加者数：〇人)
- ・ 大学との連携による取り組み
.....
(取組内容：.....)

【課題】

- ・
- ・

【今年度の取り組み】

- ・
- ・

取組 2 : 移住・定住の推進

若者世帯への定住を支援するとともに、移住を検討している方への案内や、首都圏等での移住相談会に参加し、本市が移住・定住先の選択肢の一つとなるよう、市の魅力をPRします。また、移住就業支援事業費補助金事業により、首都圏からの移住促進と中小企業の人材確保を推進します。

【事業実施結果】

- ・
- ・

【課題】

- ・
- ・

【今年度の取り組み】

- ・
- ・

取組 3 : 就業支援

商・工業においては、就労支援機関との事業連携や情報交換、企業への啓発活動により、就業促進及び就労環境の向上を図ります。農業においては、農林大学校や農業法人、女性就農者、JA、県などと連携し、女性の新規就農を支援します。

また、学生を対象に、市内企業への関心を高め、就職の促進を図ります。

【事業実施結果】

- ・
- ・

【課題】

- ・
- ・

【今年度の取り組み】

- ・
- ・

※図や写真を入れながら、実施結果や今後の取り組みを説明する